

文化財NEWS

文化財パトロール ～下郷町～

9月14日(水)下郷町で行われた文化財パトロールに同行しました。今回は「国指定重要文化財(建造物)観音堂」「国指定天然記念物塔のへつり」「国指定天然記念物中山風穴地特殊植物群落」「国指定史跡下野街道」の現地視察です。



【観音堂[中の沢:旭田寺所蔵](昭和35年6月国指定)】三間四面に回廊をもつ南北朝様式を残す本格的和様建築で、会津仏教の始祖“徳一”上人によって寺院が開かれたと伝えられています。安置されている仏像は“聖観音立像”です。
[御蔵入三十三観音 第十一番札所]



【間もなく紅葉の季節がやってきます】

【塔のへつり(昭和18年8月国指定)】大川(阿賀川)右岸にあり、凝灰岩質の地層が、長年にわたる水流や風の浸食作用により、独特の景観が創られました。この景観になるには何万年もの歳月がかかるとされています。10ある塔状の奇岩にはそれぞれ名前がつけられています。形から想像してみるのもいいですね。



【特殊植物群落 第3指定地】

【中山風穴地特殊植物群落(昭和39年6月国指定)】

<下郷町文化財担当の渡部勇進さんのお話から>

指定された植物群の管理はたいへんです。周辺の木々の枯れ葉が堆積したり、他の植物の種子が飛散し高山植物以外の植物が繁殖したり。高山植物は弱いため他の植物に負けてしまいます。自然の姿と言えばそうなのですが…。文化財の中でも、植物(群)の維持管理が特にたいへんです。と話してくれました。

【下野街道(平成14年3月国指定)】江戸時代に整備された会津若松城下から下野今市に至る全長130km余りの街道で、南山通りとも言われます。会津から江戸への最短ルートで江戸廻送米の輸送路、参勤交代にも利用されました。明治になり新道が設置されたことに伴い衰退することになりましたが、吉田松陰やイザベラバードも通ったそうですよ。

【江戸時代当時のままの石畳(氷玉峠)】



【木漏れ日のさす街道(中山)】

裏話:実は氷玉峠散策中に藪から「ガサガサ」と音が!安全のため奥まで進まず退却しました